

SLカートミーティング主催者各位

一般社団法人SLカートスポーツ機構 代表理事 小島 義則  
SLカートクラブ 代表 中野 和弥

## 《2013SLメンバーズブック記載内容訂正のお願い》

お世話になります。日頃よりカート普及活動にご尽力を賜りありがとうございます。  
標記の件、2013SLメンバーズブック63～64ページ、“●スキッシュエリアの規定”に関して、“簡易計測方法”を記載しておりましたが、計測時の統一解釈を図るため、記載方法を変更致します。お手数をお掛け致しますが、下記箇所のご訂正をお願い致します。

### 記

【変更箇所】 2013SLメンバーズブック 63ページ中段～64ページ

● スキッシュエリアの規定

YAMAHA カデット、YAMAHA カデットオープンを除く、全クラスでスキッシュエリアの確保が規制されます。(～中略～) ※これによって、『シリンダーヘッドガasketの厚み0.4mm以上あること』という規定はなくなります。簡易検査の方法として、次の検査を実施する事が認められます。プラグホールから3.0mm以上のハンダを入れ、ドライブ側もしくは電気側のどちらか一方を計測し、2.3mm以上あれば検査合格とします。

(～中略～)



(64ページ)

○ 計測方法<簡易計測方法>

プラグホールから3mm以上のハンダを挿入し、排気ポートに対し直角方向の指定された箇所(ドライブ側と、電気側のいずれかのスキッシュエリア)にセットし、クランクシャフトを1回転させ、潰れたハンダの厚みを計測します。潰れたハンダの厚みが2.3mm以上あればスキッシュエリアの検査は合格とします。

<両側計測方法；簡易検査で片側2.3mm未満の場合>

(～中略～)

スキッシュエリアの簡易計測手順

②プラグを外し、ホイールから排気ポートに対し直角方向のドライブ側または、電気側のいずれかの所にハンダを挿入します

④つぶれたハンダのドライブ側、電気側のいずれかの厚みが 2.3mm 以上あればスキッシュエリアの検査は合格とします

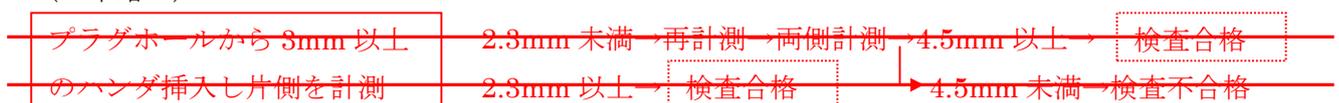
スキッシュエリアの計測手順 ※簡易検査で数値が不足した場合

## 【変更内容】

### ● スキッシュエリアの規定

YAMAHA カデット、YAMAHA カデットオープンの両クラスを除く、全クラスでスキッシュエリアの確保が規制されます。(～中略～) ※これによって、『シリンダーヘッドガasketの厚み 0.4mm 以上あること』という規定はなくなります。~~簡易検査の方法として、次の検査を実施する事が認められます。プラグホールから 3.0mm 以上のハンダを入れ、ドライブ側もしくは電気側のどちらか一方を計測し、2.3mm 以上あれば検査合格とします。~~

(～中略～)



(64 ページ)

### ○ 計測方法 ~~簡易計測方法~~

プラグホールから 3mm 以上のハンダを挿入し、排気ポートに対し直角方向の指定された箇所 (ドライブ側と、電気側) にセットし、クランクシャフトを 1 回転させ、潰れたハンダの厚みを計測します。ドライブ側、電気側それぞれを計測し、潰れたハンダの厚みの合計が 4.5mm 以上とします。

<両側計測方法 ; 上記検査方法で合計が 4.5mm 未満の場合>

(～中略～)

### ○ スキッシュエリアの ~~簡易~~ 計測手順

②プラグを外し、ホイールから排気ポートに対し直角方向のドライブ側および、電気側の両方にハンダを挿入します

④つぶれたハンダのドライブ側、電気側の厚みの合計が 4.5mm 以上あればスキッシュエリアの検査は合格とします

スキッシュエリアの計測手順 ※上記検査で数値が不足した場合

<適用時期>

2013 年 7 月以降

本件に関するお問い合わせは下記 SLO レギュレーション委員会までご連絡下さい。

TEL : 0537-27-1981 , FAX : 0537-27-1609

E-mail : [honma\\_sho@ympc.co.jp](mailto:honma_sho@ympc.co.jp) 担当 : 本間